

## 事業活動報告書

団 体 名	プロジェクト秋月
事 業 名 称	秋月花プロジェクト
事 業 期 間	2025 年7月11日～2026 年2月24日
事 業 内 容 及 び 其 の 効 果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>8月10日 秋月地区杉ノ馬場耕作放棄地の休耕田の漉き込み、耕作放棄期間が長すぎ予定していたトラクターでの漉き込みが難しく、重機を一度畑全体に入れる必要が有り、秋月の建設業者の力を借り雑草その他を除去。</p> <p>8月30日 肥料散布、トラクターでの漉き込み</p> <p>9月15日 電気柵設置、地域の保育園、小学生、中学生、保護者の力を借りて種まき 約 70 名参加</p> <p>10月23日 農場に看板を設置</p> <p>11月 収穫目前で電気柵のバッテリーが切れてしまい 全ての蕎麦の実を鹿の食害に遭う。</p> <p>1月25日 同じ品種の蕎麦の実を松末より購入し、秋月コミュニティで蕎麦打ち講師を招き、地域住民、学生、観光客向けに蕎麦打ち体験とそばの試食会を行う。 蕎麦打ち体験は 20 名予定の所、30 名以上が蕎麦打ち体験参加。 当日は雪が降る中、観光客は少なかったが地域住民、子ども、外国人観光客が試食会に参加 100 食用意し、14 時には全てなくなる。 約 100 名参加</p> <p>2月24日 収支報告、反省会を実施 収支の報告や今後の課題の整理を行った。</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>種まきなど地域の子どもたちに手伝ってまいってもらったことにより、保護者にも事業の周知や目的などが伝わった。杉ノ馬場でおこなったことで地域住民、観光客多くの人の目にとまり、花の成長も含め、収穫や蕎麦の試食会まで秋月の町に関わった方に楽しんでいただけた。 耕作放棄地を畑にかえ蕎麦の花が満開になった時には観光客や周辺住民からは一定の評価をいただいた。試食会には種まきから参加してもらった児</p>

	<p>童や地域住民、秋月に関係する方々にコミュニティに集ってもらい、試食会をおこなった。 保育園児から90代まで幅広い世代間交流が行えた。想像していたよりも地域の方に楽しみにしていただき、来年度以降の事業の継続や自身の家に蕎麦の実を植えてみたいという声も聴けたので定期的に関催する事で定着化できるのではないかと感じた。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>当初予定していた畑は道路両脇の2面予定だったが実施数日前に急遽片側の所有者から使用中止の申し入れがあった、実施直前までの意思確認。</p> <p>鹿の食害対策として使用していた電気柵と警告音のバッテリー交換の頻度を上げる。</p> <p>天候のせいでもあるが当日の観光客の参加が少なかった。畑の立て看板をかなり大勢の方に見ていただけだったので事業の大まかなスケジュールと試食会の日程は先に決定したうえ、看板で告知しおこなう。</p>

【2025. 8月10日 報告 休耕田のすきこみ等 写真】

施工前



除草 伐採



【2025. 9月15日 報告 種まき等 写真】

種まき



【2025. 10月25日 報告 看板設置 写真】

看板設置



【2026. 1月25日 報告 そば打ち等 写真】

そば打ち風景









